

# 新・奥の細道

鼠ヶ関ルート

③

庄内平野展望と清正公のみち



山形県

## 周辺のアクセスガイド

・JR鶴岡駅からバスで20分。  
・庄内空港からタクシーで35分。  
・鶴岡市湯田川温泉までは、  
・JR鶴岡駅からバスで20分。



観光・宿泊のお問合せ	榊町観光協会 〒997-03 榊町大字上山添字文栄100番地 ☎0235-57-2111 湯田川温泉観光協会 〒997-07 鶴岡市大字湯田川丙64 ☎0235-35-4068
交通のお問合せ	JR鶴岡駅 〒997 鶴岡市末広町1-1 ☎0235-22-0655 庄内交通 〒997 鶴岡市錦町2-68 ☎0235-22-2600
コースのお問合せ	榊町企画開発課 〒997-03 榊町大字上山添字文栄100番地 ☎0235-57-2111 鶴岡市観光物産課 〒997 鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1 ☎0236-30-2207

表紙の写真は、金峯山から庄内平野を望む

# GUIDE

みどころ案内

## 天澤寺

Tentaku-ji

榊町丸岡の天澤寺は、戦国時代の勇将、加藤清正公・忠廣公ゆかりの地として知られています。肥後守熊本五十四万石の大名清正公は、知仁・勇を備える名将として知られ、文禄の役(1592)、慶長の役(1597)の朝鮮出兵の際には虎退治の武将として、勇名を馳せました。また、大阪城・名古屋城・熊本城の名城を築城し、清正石垣と呼ばれる建築法は、天守閣だけでなく、治水・干拓・開墾事業にいかされ、四百年を越えても微動だにしない、すばらしい技術を残しています。



天澤寺

清正公亡き後、あとつぎの忠廣公は、幕府からいわれなき罪をかぶせられ、江戸から出羽国庄内の丸岡に配流されました。丸岡の地は四百数十年の間、鎌倉武士の流れをくむ武藤家の支城として栄えましたが、徳川時代になると幕府直轄の領地となっていました。加藤家の改易(幕府に領地を没収されること)後は、藩主の忠廣公のほかに生母・正応院とわずかの家臣が残し、領地は一萬石に減らされました。忠廣公は、それから二十有余年南国熊本を遠く離れたこの地で、わびしい生活を送り生涯をとじました。

配流となった際、忠廣公は、父清正公の遺骨を熊本から丸岡に移し、弔い、身をもって守ったと言われています。

現在、天澤寺には、清正閣や五輪塔(清正公の墳墓)などがあります。

また、隣接には、当時をしのばせる丸岡城跡が残っています。



丸岡城跡

榊町丸岡の地は、鎌倉武士の流れを組む武藤家の支城、丸岡城跡や虎退治の武将、加藤清正公の墳墓が弔われている天澤寺など歴史浪漫が漂います。西方には標高485mの金峯山があり、山頂からは庄内平野が一望できます。その麓の湯田川温泉は鶴岡の奥座敷と呼ばれ、孟宗竹と梅林に囲まれた静かな温泉として有名です。

## 金峯山

Kinbo-zan

その昔、吉野(現在の奈良県)から神仏を分けてまつているというこの金峯山は、標高こそ低けれども歴史のある山です。初心者や家族連れでも登山が楽しめ、絶好のハイキングコースとなっており、標高によってそれぞれ異なる絶景を堪能できます。また、中の宮にある金峯山博物館には、この山の貴重な文化財と動植物を展示しています。



金峯神社

◎金峯山博物館  
年中無休(8:30~4:00)  
大人200円、学生100円、小・中50円  
◆金峯神社/  
☎0235-23-7863

## 湯田川温泉

Yutagawa-onsen

国指定の名勝地・金峯山のふところに囲まれた湯田川温泉は、県内で最も早くから開かれた温泉です。鶴岡の奥座敷とも呼ばれ、孟宗や山菜料理、新鮮な魚介類で訪れる人をもてなします。



湯田川温泉の街並み

## 由豆佐売神社

Yuzusame-jinja



由豆佐売神社

老杉のうっそうとした森の高台に、由豆佐売神社は鎮座しています。境内には樹齢千年を越す大銀杏をはじめ、樅の大木や杉の巨木が天をつくほど高く伸びています。裏山の頂上には鎌倉時代初期の経塚が並んでいます。

※経塚一経典などを長く後世に伝えるため保存しておく塚など。

## 梅林公園

Bairin-koen



梅林公園

湯田川温泉背後にある梅林公園は、梅1500本・ぼたん200本・桃30本、萩の花が竹林の間に咲き乱れ、良い香りが公園いっぱいひろがります。とても美しい散策コースです。

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## "新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
  - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
  - ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
  - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。